

なんたん

 **市議会だより**
No.18
平成22年7月23日発行

発行／南丹市議会 編集／広報特別委員会

〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47番地 TEL.0771-68-0059(直通) FAX.0771-63-0350

●e-mail gikai@city.nantan.kyoto.jp ●http://www.city.nantan.kyoto.jp



田歌の祇園さん

場所／美山町田歌 八坂神社



おもな内容

- P2 6月補正予算
- P2 委員会での主な質疑
- P4 主な条例制定・改正
- P5 一般質問
- P13 委員会活動報告
- P14 南丹市の頑張る人たち

平成22年6月定例会は6月1日に開会し、24日に閉会しました。

今議会には、予算関係では、21年度の一般会計と簡易水道事業など3特別会計予算の専決処分の承認や、22年度の一般会計と国民健康保険事業など4特別会計の補正予算が、また、条例関係では、美山和泉交差点観光交流広場設置条例などあわせて8件の条例の制定や一部改正などが提案され、14日から16日にかけて開かれた各常任委員会では具体的に審議したのち、24日の最終本会議で、いずれも原案どおり承認・可決しました。

一般質問は9日から11日までの三日間行われ、15人の議員が質問に立ち、市政を質しました。

そのほか、議会の活性化を検討する議会特別委員会の設置や副市長選任などが提案され、いずれも原案どおり可決、同意しました。

平成22年度一般会計補正予算(第1号)【全員賛成】可決

3億9,918万円を追加し、総額 198億1,718万円に

歳入の概要

- 市税.....7,270万円追加
固定資産税償却資産分
- 分担金及び負担金.....1,015万円追加
鳥獣害防止総合対策事業分担金
- 国庫支出金.....2,782万円追加
合併市町村補助金(新規)など
- 府支出金.....8,198万円追加
地域子育て創生事業補助金など
- 繰入金.....350万円追加
義務教育施設整備基金から繰入(新規)
- 諸収入.....1,053万円追加
国民文化祭の市町村運営助成交付金(新規)など
- 市債.....1億9,250万円追加
道路橋梁整備事業のための借入れなど

合計..... 3億9,918万円

歳出の概要

- 総務費..... 2,242万円追加
まちづくり活動支援交付金(新規)など
- 民生費..... 852万円追加
地域子育て創生事業費(新規)など
- 衛生費..... 3,044万円追加
簡易水道事業特別会計への繰入金など
- 労働費..... 463万円追加
緊急雇用創出事業費
- 農林水産業費..... 4,995万円追加
野生鳥獣被害総合対策事業など
- 土木費..... 2億6,335万円追加
道路新設改良事業など
- 消防費..... 1,060万円追加
木造住宅耐震改修事業補助金など
- 教育費..... 927万円追加
学校図書館有効活用方法調査研究事業(新規)など

合計..... 3億9,918万円

主な質疑

各委員会での

問 美山和泉交差点観光交流広場において、指定管理者の会社と振興会が共催で催しを行った場合の利用料の扱いは。
答 市が主催する行事、広く市民を対象とした公益性の高い行事、その他市長が認めた行事があり、地域振興のため使用された場合は免除となる。

問 園部地域のCATV光ケーブル化はいつ頃か。
答 25年度を目途としているが、今年度計画の予定。

問 美山中学校でコミュニケーション・スクール推進研究事業に取り組みとあるが、今後全校に展開するのか、また、学校評議員制度との関連は。
答 本格実施にあたっての事前指定研究として2年間美山中学校で実施する。補助金がなくても学校・家庭・地域が一体となった学校運営が必要。学校評議員制度

問 地域子育て創生事業の若者の出会い応援事業の内容は。
答 出合いの場としては、農業、陶芸、ものづくり、カヌー、かやぶきの里など市の地域資源を活用し、地域の行事などと連携した取り組みを検討。さまざまな団体から取り組みたいとの要望がある。

問 包括的支援センター事業の北部拠点はどこか。
答 社協の本庁を北部拠点とし、もう一カ所検討する。

問 外出支援サービスの実施要項では、80歳でサービスの打ち切りという規定はない。このサービスは、利用したいときに利用できない実態がある。
答 外出支援の重要性は認識している。福祉サービスを受けられる人と公共交通機関を利用できる人との間にいる人に対する外出支援について、タクシー業者、福祉有償運送事業者、一般のサービス提供者と今年度中には結論を得るべく調整中。

反対討論(要旨)

松尾 武治 議員

専決処分

平成21年度南丹市土地取得事業特別会計補正予算(第5号)について

契約の成立も考慮するとしても全額残すのではなく、3筆のうち1筆分を残し、2筆分を3月議会で減額補正するのが適切な処理と考える。3月議会において、減額補正ができるにも関わらず、専決処分した行為は、到底容認できるものではない。本議案のような議会の軽視する行為に対し、議会は毅然たる態度で不承認を示し、専決処分の内容について検討を促す必要がある。

議会では、議会活性化が叫ばれているが、本議案のような議会軽視に対して、異議を唱えることから、議会の活性化が始まる。議員諸兄の賢明なる判断を仰ぎ、反対の討論とする。

とは別。

問 有害鳥獣の防護柵設置の補助対象が原則3戸以上となっているが、3戸未満なのは難しい実態。見直しの検討は。
答 原則3戸以上で補助対象となるが、2戸分の耕作地しかない場合は対応を検討する。

問 小字ごとで防護柵を設置しても追いつかない。追加や補強などの要望への対応は。
答 集落全体を囲むような山裾への防護柵の設置を検討している。

問 市開発行為等の基準及び手続に関する条例の一部改正で、都市計画区域外ではどのようなものか。
答 美山、日吉地区において土砂災害防止法の警戒区域指定が進んでいるが、特別警戒区域に指定されると、両地区では建築確認申請が必要となり、既存宅地での改築が困難となることから、1千平方メートルまでの市開発条例の適用を除外しようとするもの。

平成22年度
特別会計補正予算(第1号)

全員賛成

可決

会 計 名	補正前の額	補 正 額	現 在 額	概 要
国民健康保険事業	34億4,520万円	265万円	34億4,785万円	国保連合会電算機器更改整備負担金
介護保険事業	29億8,360万円	375万円	29億8,735万円	包括的支援事業の充実など
簡易水道事業	6億4,530万円	3,946万円	6億8,476万円	老朽管の更新など
下水道事業	28億4,030万円	130万円	28億4,160万円	雨水排水事業など

佐々木市長にまちづくりを問う 一般質問

6月定例会では、15人の議員が一般質問を行いました。各議員の質問と理事者の答弁の概要は次のとおりです。（質問順に掲載）



新庄小学校

問 昨年、バス等の公共交通機関の利用が不便だと思われる集落で聞き取り調査が行われた。こうした地域の、バス運行と福祉輸送の狭間におられる方の交通対策は。また、最大料金を設定して一定額以上は支払いが必要とならない料金の見

市 直しが必要では。タクシー・バス事業者の方と協議し、交通網の充実に向け、早期に具体的な運行を計画する。また、料金についても協議する。

問 現在、中学校給食は美

市 ハード・ソフト両面に課題はあるが学校関係者並びに保護者の皆さまのご意見を踏まえて具体的な検討を早急に進める。

仲村 より充実したバス交通対策を
早急に検討する

市 タクシー・バス事業者の方と協議し、交通網の充実に向け、早期に具体的な運行を計画する。また、料金についても協議する。

市 ハード・ソフト両面に課題はあるが学校関係者並びに保護者の皆さまのご意見を踏まえて具体的な検討を早急に進める。

教育長 9月以降に検討組織を立ち上げ、給食推進の検討に入る。

市 平和都市宣言の中に、「憲法に掲げられた恒

市 久平和の理念を日常生活に生かす」という一文がある。それを心において行政を進める。モニメントの設置は、議会の議論を賜り検討していく。

市 スクールバスを中心としたバス交通を基本に、今事業実施に向けて、デマンド方式も含め具体的に検討している。ダイヤ増設は困難な状況でバス路線は全体を考え検証していく。

市 山田だけが旧町から実施されている。公約に掲げられた給食実施に向けての今後の計画は。

市 現在、全校児童が50名以下の学校が8校、複式学級を抱える学校は7校で複式の複数実施が1校ある。学校の将来像をどのように考えているのか。

大面 核廃絶・平和都市宣言の具現化は
恒久平和の理念生かし行政進める

市長



日本共産党市会議員団 大面 一三 議員

市 スクールバスを中心としたバス交通を基本に、今事業実施に向けて、デマンド方式も含め具体的に検討している。ダイヤ増設は困難な状況でバス路線は全体を考え検証していく。

市 桂川中流域下水道施設の市移管問題をどう考えているか。

流域下水道の
市移管問題

条例改正等の14議案は
全員賛成で可決
専決処分7件を承認

条例の制定・改正

条例

①美山和泉交差点観光交流広場条例の制定
特産品の販売や道路利用者の利便性の向上、市民文化を創造する各種イベント開催の場の提供などを目的として設置するもの。
②職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
法律の一部改正に伴い、育児を行う職員の早出遅出勤務、超過勤務制限等に係る請求要件について所要の改正を行うもの。
③職員の育児休業等に関する条例の一部改正
法律の一部改正に伴い、育児休業、育児短時間勤務



美山和泉観光交流施設

④市税条例の一部改正
地方税法等の一部改正により、子ども手当導入に伴う個人市民税の扶養控除の見直し、たばこ税率の引き上げなどが行われたことにより、所要の改正を行うもの。
⑤都市公園条例の一部改正
園部地内に二つの都市公園を設置したことに伴い、所要の改正を行うもの。
⑥公の施設の指定管理者の指定について
「美山和泉交差点観光交流広場」の設置に伴い、3年間「株式会社ファイニズミ」を指定管理者とするもの。
⑦開発行為等の基準及び手続きに関する条例の一部改正
経年変化に対応し、現状に即した良好なまちづくりを進めるため、所要の改正を行うもの。
⑧市立障害者支援施設条例の一部改正
「あじさい園」の別棟の改築及び「ワークセンターびび日吉分所」の増築により所要の改正を行うもの。

⑨市立障害者支援施設条例の一部改正
経年変化に対応し、現状に即した良好なまちづくりを進めるため、所要の改正を行うもの。
⑩市立障害者支援施設条例の一部改正
経年変化に対応し、現状に即した良好なまちづくりを進めるため、所要の改正を行うもの。
⑪市立障害者支援施設条例の一部改正
経年変化に対応し、現状に即した良好なまちづくりを進めるため、所要の改正を行うもの。
⑫市立障害者支援施設条例の一部改正
経年変化に対応し、現状に即した良好なまちづくりを進めるため、所要の改正を行うもの。
⑬市立障害者支援施設条例の一部改正
経年変化に対応し、現状に即した良好なまちづくりを進めるため、所要の改正を行うもの。
⑭市立障害者支援施設条例の一部改正
経年変化に対応し、現状に即した良好なまちづくりを進めるため、所要の改正を行うもの。

専決処分

市税条例の一部改正
法改正により、65歳未満で公的年金等所得がある給与所得者は、府・市民税を給与からの天引きを可能にするもの。
国民健康保険条例の一部改正
法改正により、国民健康保険税の医療分の賦課限度額を47万円から50万円に。

その他

①土地の無償譲渡について
園部地内において寄付を受けた土地の一部を、地元要望に基づき無償で譲渡するもの。
②自治功労者の表彰について
地方自治の発展に貢献された3名を自治功労者として表彰するもの。

（以上全員賛成で承認）
平成21年度土地取得事業特別会計補正予算（第5号）
（賛成多数で承認）

より所要の改正を行うもの。
⑤都市公園条例の一部改正
園部地内に二つの都市公園を設置したことに伴い、所要の改正を行うもの。
⑥公の施設の指定管理者の指定について
「美山和泉交差点観光交流広場」の設置に伴い、3年間「株式会社ファイニズミ」を指定管理者とするもの。
⑦開発行為等の基準及び手続きに関する条例の一部改正
経年変化に対応し、現状に即した良好なまちづくりを進めるため、所要の改正を行うもの。
⑧市立障害者支援施設条例の一部改正
「あじさい園」の別棟の改築及び「ワークセンターびび日吉分所」の増築により所要の改正を行うもの。

⑨市立障害者支援施設条例の一部改正
経年変化に対応し、現状に即した良好なまちづくりを進めるため、所要の改正を行うもの。
⑩市立障害者支援施設条例の一部改正
経年変化に対応し、現状に即した良好なまちづくりを進めるため、所要の改正を行うもの。
⑪市立障害者支援施設条例の一部改正
経年変化に対応し、現状に即した良好なまちづくりを進めるため、所要の改正を行うもの。
⑫市立障害者支援施設条例の一部改正
経年変化に対応し、現状に即した良好なまちづくりを進めるため、所要の改正を行うもの。
⑬市立障害者支援施設条例の一部改正
経年変化に対応し、現状に即した良好なまちづくりを進めるため、所要の改正を行うもの。
⑭市立障害者支援施設条例の一部改正
経年変化に対応し、現状に即した良好なまちづくりを進めるため、所要の改正を行うもの。

⑮市立障害者支援施設条例の一部改正
経年変化に対応し、現状に即した良好なまちづくりを進めるため、所要の改正を行うもの。
⑯市立障害者支援施設条例の一部改正
経年変化に対応し、現状に即した良好なまちづくりを進めるため、所要の改正を行うもの。
⑰市立障害者支援施設条例の一部改正
経年変化に対応し、現状に即した良好なまちづくりを進めるため、所要の改正を行うもの。
⑱市立障害者支援施設条例の一部改正
経年変化に対応し、現状に即した良好なまちづくりを進めるため、所要の改正を行うもの。
⑲市立障害者支援施設条例の一部改正
経年変化に対応し、現状に即した良好なまちづくりを進めるため、所要の改正を行うもの。

⑳市立障害者支援施設条例の一部改正
経年変化に対応し、現状に即した良好なまちづくりを進めるため、所要の改正を行うもの。
㉑市立障害者支援施設条例の一部改正
経年変化に対応し、現状に即した良好なまちづくりを進めるため、所要の改正を行うもの。
㉒市立障害者支援施設条例の一部改正
経年変化に対応し、現状に即した良好なまちづくりを進めるため、所要の改正を行うもの。
㉓市立障害者支援施設条例の一部改正
経年変化に対応し、現状に即した良好なまちづくりを進めるため、所要の改正を行うもの。
㉔市立障害者支援施設条例の一部改正
経年変化に対応し、現状に即した良好なまちづくりを進めるため、所要の改正を行うもの。

谷 利便性を考えた市営バス運行を

早急に交通システムを構築する

市長



南風クラブ 谷 幸 議員

保育環境の充実を

問 園部八木線は船枝地内を通過していない。公共交通機関は高齢化の進む昨今、交通弱者の外出に欠かせない移動手段である。利便性の向上を考えると運行ルートの見直しが必要である。

環境に対する市の取り組みは

市長 要望を十分踏まえながら利用していただきやすい交通システムを構築していく。

問 八木農村環境公園（氷室の郷）の農食館が本年8月に閉館される予定だが、

市長 環境保全は市民の皆

問 若い人にとって住みやすいまち、子育てしやすいまちである。働きたくても入所させてもらえない。また、保育所によって、合同保育されている。子供の発育を考慮した保育を行うべきである。

さんと連携をとりながら、市としても積極的に進めたい。働くことができれば、年齢、また地域において一定の集団での保育の確保も考慮しながら必要な対策を講じる。



氷室の郷（農食館）

しかないと思う。

これまでも再三、JRに要望をしてきたがこれからも続ける。乗降客を増やす方策を採るのが行政課題との認識はある。

小規模校への考えは

問 小規模校に対する考えの中、通学地域の選択要望への対応は。

教育長 校区外通学を認めているケースもある。個別対応をしている。

山下

議会基本法に対する市長の姿勢は

地方自治を進めるためにも議論が必要

市長



山下 澄雄 議員

JR 胡麻駅

問 今、地方議会のあり方について全国的に批判が多い中でも議員報酬、定員、年金等、市民合意がないまままきえている。それらを踏まえ、

各地で「議会基本法」が制定されているが、執行側の姿勢は、市民協働のためには同質情報を市民、議会、職員に提供すべきだ。

市長 地方自治、分権を進める中で大変重要な時期にきていると思う。議会で議論していただ

くのはありがたい。市民協働のための自治基本条例の論議も進めたい。情報を共有しなければ、適切な議論ができないので注意していく。

対策が終わったように見える。イ「カカードが使えない船岡、日吉の駅で、さまざまな不便を強いられている。下り方面のダイヤも不便だ。今後の対応は。

市長 園部以北の格差が顕著になった。解決は複線化

仲

国民健康保険税の引き下げを

市長



日本共産党市会議員団 仲 絹枝 議員

国保税の引き下げは到底不可能

問 近隣自治体より基金残高が多い中で、高い国保税に苦しんでいる住民の負担軽減のため、基金の一部を使い、国保税の引き下げを行う必要があると思うが。

中学校給食の検討組織は

市長 24年度には基金も底を突きかねない。国保財政の健全な運営から引き下げ

問 全国の75・6%の中学校で完全給食を実施している中で、本市も実施に向け

た検討をすべきである。「基本方針」を定め、弁当と併用、メニューの選択制等参考になる自治体もある。どのような体制で検討するのか。

JR八木駅の改修の目的は
問 JR八木駅の改修は、障がいのある方はもとより、駅利用者にとっても悲願である。

関係者、事務局職員を予定している。中学校給食を実施した場合の課題について、分析、検討を行い必要な調査も実施していく。

の今後のスケジュールは。



森

夢と希望のある将来へのまちづくりを

市長



丹政会 森 嘉三 議員

積極的に着実なまちづくりに取り組む



本町区画整理事業

問 市長も2期目として具体的なまちづくりに本格的に取り組む必要があるが、合併特例債、過疎債を活用したまちの活性化につながる

市長 子ども、安心、地域、産業の重点施策を、総合振興計画の重点として取り組み、合併特例債や過疎債も活用し、積極的に着実なまちづくりに取り組んでいく。

中心市街地における賑わいを取り戻し、園部町内

の真の活性化につながる事業を構築するため責任を持つて取り組んでいく。八木駅は周辺整備も含め取り組む必要があり、JRとも十分な協議を続けていく。

火葬場は、船井衛管で整備基本計画を策定し、候補

地の選定、詳細の検討を京丹波町とも協議を進めていく。

市役所は、防災拠点の位置づけとしても重要であり、合併特例債が活用できる10年の間に早急に議論を進める。

地域経済については、公共事業の地元発注、物品の地元購入、緊急雇用事業、他にも市としてできる施策は対応しているし、今後とも産業振興に積極的に取り組んでいく。

有害鳥獣対策の計画的な推進は

鹿肉活用開発チーム結成に努力

市長



南風クラブ
廣瀬 孝人 議員

問 有害鳥獣の農林業に対する被害は、大変重大で深刻である。

また、捕獲頭数も計画通り至っておらず、猟友会への支援も十分でない。

早期の解決が望まれる中「市民参加と協働の推進」条例を活用して、「鹿

結成に向けて努力する。

病院のサービス向上を

問 本市の医療機関においては、ドクターヘリの運航や診察予約制の導入や院内保育所の設置など、将来を見据えた運営に感謝してい

る。

しかし、実態の中では、待合席で名前を呼ばれるのを待っている状態である。

「外来患者呼出システム」は、診察順を音とバイプで知らせるシステムで、患者のリスクを少なくするし、プライバシーの保護となり導入が必要と思うが。

市長 中核病院として患者さんのサービス向上、利便性の確保に努めている。今後も充実に努力する。



鳥獣被害対策

林

生命を守る予防ワクチンに公費助成を

法定接種ということも踏まえ取り組み

市長



林 茂 議員

小中学校の耐震工事は

問 昨年までに小・中学校の校舎・体育館で、10棟耐震性あり、または補強済みとなっているが、大きな地震に対し、倒壊の危険性があるものについて一刻も早

は。

教育長 八木小・殿田中学校舎、美山中体育館は、今年夏休み期間を中心に工事を進め、それぞれ8月末・9月中旬完成予定である。これで危険なものは補強完了で、その他のものも順次耐震化を進める。

火葬場の早期改善を

問 故人と最後のお別れをする高齢者等の安全のため、暗い照明、狭くて急勾配の階段を早急に改善して欲しいとの要望が多数ある。取り組みと実施に向けての考えは。

市長 階段等の改善策については、新火葬場建設と別の問題であり、早急に検討する。



耐震工事が進む八木小学校

問 4月に、本市公明党女性局でも署名に取り組んだ子宮頸がん、細菌性髄膜炎の予防ワクチンは、任意接種で自己負担金それぞれ5万円、

3万円と高額である。若い生命を守るためにも公費助成の考えはないか。

市長 ワクチンの公費助成は大きな課題。費用分担について国に要望している。法定接種ということも踏まえながら取り組んでいきたい。

高野

「平成の大大合併」しっかり検証を

合併検証は市民がするもの

市長



日本共産党市会議員団
高野 美好 議員

問 ①今日の財政危機をどうみるか。

②行政と住民との関係はどうなったのか。

③中心部と周辺部との地域内格差はどうなったのか。

この視点で、将来を生きる市民のために「平成の大

合併とは何だったのか」行政としてしっかり検証し、地域の振興策を示すべきである。

現在は、行政改革の名による経費削減に追われて、住民に希望と展望を与えていない。住民が仕事に、暮らしに目を輝かしている地

域には活力がある。行政と住民とが顔の見える関係、すなわち住民との協働をしっかりと構築し、旧町村よりも狭い地域での地域活動の主体形成を急ぐ必要がある。

また、集落やNPO法人、民間法人なども参加す

る新しい自治の仕組みを考えることと同時に、地域経済の振興策、特に食料の地産地消や地元産木材の有効利用など、第一次産業の振興策を立てるべきである。

市長 行政に4年間携わってきたが、真のまちづくりを進める中で、合併検証は、市民の皆さま方がなされるものだと考えている。



地元産品の販売所

合併検証という言葉は抽象的で、何をしたいのか理解できない。

橋本

公認専用野球場の建設を

スポーツ振興は大切である

市長



丹政会
橋本 尊文 議員

天神川改修事業の跡地は

問 天神川改修工事の進捗よく状況と工事完成後の跡地利用として公園整備事業をしてはどうか。

市長 天神川関係は22年度完成予定。園部川の改修との整合性を図り、供用開始

JR園部駅にレンタル自転車を

問 園部は多くの観光資源を有する。観光促進や来訪者の利便性を考慮し、レンタル自転車設置が望まれるが。

市長 レンタル自転車は手軽に活用でき、検討課題とする。



園部多目的グラウンド

問 スポーツは健康保持・心豊かな感性・相互理解に寄与し、幅広い人間性を培ってくれる社会の潤滑油である。また競技で

力の強化は必須事項でその環境整備は肝要である。その一環として公認専用野球場の建設を求める。このことは直接的技術の向上はもとより、精神的支柱となり、全国に発信する基地として本市の発展に貢献するものである。将来展望の考

外出支援サービスの二層の充実を

交通問題、外出に対するニーズに対応

市長



木戸 徳吉 議員

問 高齢者の生活支援事業の中で、外出支援サービス

は、自力で外出が困難な方に対して行っている。利用者には公平、公正なサービスを提供したい。交通問題、外出に対するニーズというものをしっかりとらまえる中で、このあり方について

も、早急に取り組みを進めていきたい。

中学校給食の早期実現を

市長 給食についてのような形でできるか、さまざまな状況の中で検討していく。

に合った対応をすべきと思うが。

教育長 それぞれの中学校が抱えている課題を共通的にしっかりと解決していくことが大事だ。

若い単身者が入居できる市営住宅に

問 市営住宅には若い単身者は入居できない。社会形態の変化を読み取り、それ

を取り組んでいきたい。



福祉有償運送車両

村田

市民に明るい夢や希望を

上を向いて夢の実現をサポート

市長



丹政会 村田 正夫 議員

問 市長が提案された「市民と一緒に」ではなく、市民に夢を与えてほしい。

市長 市民参加と協働を推進し、役割分担と協働のあり方を明示したい。新市建設計画の延長である総合振興計画の着実な推進を図

弱さがあり、長く続けるものではない。過疎債に次いで有利な合併特例債をもつと活用すべき。基金造成も必要である。

市長 10年間の合併算定、その後5年間の経過措置を見据えて考えたい。枠配は画一的にやっていない。事

6年後を考えすぎでは

特別終了の6年後を考えすぎて硬直していかないか。枠配分方式の欠点、投資的な点に

公の施設の管理運営は

問 持ち寄りですすぎ、管理運営費で手一杯。投資的施策が打てないのではない

市長 多額な経費が現実の姿である。地元移譲や廃止も視野に入れ、検討したい。



地域振興会による「フラワーライン計画」

問 市長が提案された「市民と一緒に」ではなく、市民に夢を与えてほしい。

つまでも「財政難、辛抱、辛抱」ではなく、市民に夢を与えてほしい。

山下

市営駐輪場料金の障がい者減免を

市長



山下 秋則 議員

減免実施に向け早急に検討

問 園部駅と八木駅の市営駐輪場を利用している障がい者がおられるが、両駐輪場料金の障がい者に対する減免等の制度がない状況。減免制度を設けている近隣自治体が多い中、本市としても障がい者が外出しやすい環境づくりを進める

観点から、減免制度の早急な実施が必要と考えるが。

市長 どういう形の減免にするのかなど、実施に向けて早急に検討する。

すべきではないか。

市長 スピーディーで、当然、具現化を目指しての検討でなければならぬ。

教育長 まず、学校関係者が解決に向けた議論を重ねることが重要。その上で専門家等の意見も聞きながら本市らしい給食実施形態を検討したい。困難でも解決に向けた議論を精力的に進めていきたい。



園部駅西口駐輪場

任期中の学校給食具現化が念頭か

問 中学校の学校給食実施

について市長は、今任期中の具現化を念頭においているのか。また、給食を実施した場合の共通課題解決に向けた議論を校長や給食関係者らで進めるとい

川勝

地域経済と産業振興の活性化を

市長



川勝 儀昭 議員

新たな分野との連携も考慮し実施

問 農林業においては、米や野菜、木材価格の長期的な低迷が続

減少や低落率による入札結果となり、依然厳しい経済状況にある。市長の総合振興計画実行の四つの柱のうち「産業の未来を創る」

八木駅舎改築の進捗よく状況は

市長 市内の厳しい経済状況は把握している。今後4年間で産業振興を図るさ

駅舎整備は長年の市民の願いであり、社会的弱者の方々のためにも事業実施は急務である。駅周辺整備

計画調査結果の内容と今後の明確な方針は。

松尾 財政危機の原因と改善策は

有効かつ効果的な施策を

市長



松尾 武治 議員

問 市長の言葉では「本市の基礎固めができた。また、本市の財政は厳しいにも関わらず、21年度は、基金（貯金）の取崩しをしなかった」とのことであるが、これは国の経済対策恩恵であって、経済対策が切れると厳しい状況はさらに

問 本市の人件費・物件費の削減率は、他の市町村と比較すると非常に低い。改めて、財政危機の原因と改善策を具体的に。

市長 現在、総合振興計画の中で、23年度から25年度の実施計画を見直し、中長期の財政計画を策定する。

問 市長答弁で、具体的な改善計画が示されると期待していたが示されなかった。財政的な質問を市長に求めたのが無理だったと理解する。

財政の責任者である総務部長の具体策は。

総務部長 税収の伸びは期待できない。公債費の繰り上げ償還等を3年間実施した。義務的経費のうち、人件費の削減は、定員削減計画、賃金カット等、既に取組んでいる。



本市の主な計画書

議員提出議案

議会活性化対策
特別委員会設置

全員賛成で可決

提案理由要旨

地方分権化時代の到来で、議会の審議、監視機能の役割は一層重要性を帯

び、議員の政策形成機能の充実が求められ、議会の活性化・議員の資質の向上は大命題である。

本市においても合併直後の平成18年12月定例会で議会活性化対策特別委員会が設置され、議員定数の問題・議会運営の問題等に大きな成果を上げその任を終えたところである。

議会のあり方の再構築や一層の市民の負託にこたえるべく、議会の改革ならびに活性化に関する調査を図

賛成討論(要旨)

山下 澄雄 議員

全国的に地方議会のあり方が問われているとき、この委員会を必要とされる議員全員がいまの議会では良くないと認めているゆえのことと思う。

議会不要論まで出ているときにこの委員会を設置するのは意義あること。た

だ委員構成について、全議員が参画すべきと思う。委員の選定に協議がないままに進められたことには不満を表す。

真に市民のための結果が出ることを要望し、賛成討論とする。

委員長 橋本 尊文
副委員長 矢野 康弘
委員 林 茂
森 爲次
村田 正夫
高野 美好
小中 昭



吉田繁治さん

八木 眞さん

全国市議会議長会表彰を受賞

去る5月26日、第86回全国市議会議長会定期総会において、前南丹市議会議員の吉田繁治さんと八木眞さんが受賞されました。

人事案件

◆副市長
松田 清孝
(園部町半田)

6月末をもって退任される岸上吉治副市長の後任として、全員賛成で同意した。

常任委員会

活動報告

▼厚生常任委員会

4月27日、28日、30日

管内の現地調査を行いました。主な施設を選定し、三日間にかけて運営状況及び施設の現状について調査を実施しました。一日目は八木9施設と園部9施設。二日目は美山11施設と日吉8施設。最終日は船井郡衛生管理組合、カンポリサイクルプラザ(株)、公立南丹病院の運営状況及び施設の現状について調査しました。今後、各施設の老朽化による修繕費や管理費の削減等が課題となってきました。

6月16日 付託された報告2件と議案4件の計6件について審査を行いました。

主な質疑として、平成22年度南丹市一般会計補正



城南保育所の視察

▼産業建設常任委員会

4月22日

管内の現地調査を行いました。今回は八木・園部を中心に実施し、八木では、国道477号(西田大藪道路)、府道郷ノ口室河原線、市道野条諸畑線、農業用道路園部八木線、八木バイオエコロジータ

ー、ほ場整備事業(池ノ内)、板野川改修事業(調整池)。園部では栄町老朽管更新事業、本町土地区画整理事業、新光悦村、都市公園事業、園部農業公社の現状と運営状況などを調査しました。

5月19日

本委員会の所管する農林商工部、土木建築部、上下水道部の事務事業調査を実施。部課長から詳細説明を受け、現状と課題について調査しました。

6月15日

付託された報告3件、議案6件について審査を行いました。報告3件は全員賛成で承認。議案6件も全員賛成で可決しました。付託



農業用道路園部八木線(神古~氷所)の視察

議案審査の後、特に大きな課題である「桂川中流域下水道」の移管について現状の報告を受けました。

下水道法の規定により、平成28年3月31日に移管されることになっており、移管に伴い本市に施設管理、財政面など大きな負担が生じることとなります。合併に伴い同様の課題を抱える市は全国で12市あります。

課題解決に向け、今後は府や全国の関係市との連携による検討が必要です。また、行政をはじめ市長会や知事会などにも働きかけなければならぬと考えます。

▼総務常任委員会

4月20日

所管事務事業調査として総務部、出納課、監査委員事務局、総合政策室、企画管理部、教育委員会の現状と課題について調査を実施しました。

4月21日、26日

管内調査として、市内全域の防災行政無線施設、公民館、学校施設、図書館、文化博物館、地域情報通信ネットワーク施設、市営バス施設、給食施設などの現状と運営状況についての調査を実施しました。

6月14日、24日

付託された報告4件と議案12件について審査を行いました。特に平成21年度南丹市一般会計補正予算(第8号)の専決処分承認に関し、土地改良区総代選挙を市が委託を受ける根拠についての指摘をし、総務部長から「法律に基づき委託を受け実施しているが、今後十分な精査を行う」との答弁を得て可決。

また、平成22年度南丹



JR 八木駅舎の視察

南丹市の 頑張る人たち

がんばる

10 ～「ふる里ファーム五ヶ荘」～
代表 久世 和夫



新鮮な野菜が並び朝市



第十回は日吉町の久世さんが代表を務めておられる「ふる里ファーム五ヶ荘」を紹介します。

五ヶ荘小学校の跡地で府道に面した一角に「ふる里ファーム五ヶ荘」がオープンして九カ月が経過しました。

全くの素人の寄り集まりで、見よう見まねでスタートしました。当初は出品の状態で悪くお客さんに指摘されたことがありましたが、いまだに満足のいく出品状態ではありませんが、少しずつでもお客さんに喜んでもらえるような野菜を並べたいと思っています。

4月からは月に一回程度、会員の奥さんたちが学校の給食室を利用して調理した、お弁当や餅、漬物等を出品していただき、お客さんに好評を得ていますが、もっと回数を増やしたいと思っています。

また休憩場所も用意しており、地域の方や都会の方たちとの交流の場にもなっています。

市内にも多くある野菜の直売所に負けないよう特色のある「ふる里ファーム五ヶ荘」にしていきたいと思っています。

9月定例会の予定

- 9月1日(水)本会議
(開会、議案提案説明)
- 9月7日(火)本会議
(一般質問)
- 9月8日(水)本会議
(一般質問)
- 9月9日(木)本会議
(一般質問)
- 9月24日(金)
(採決、閉会)

- * 8月24日(火) 午後5時までに提出された請願・陳情等は9月定例会で取り扱われます。
- * 会議時間はいずれも午前10時からの予定です。この日程については予定であり、予告なく変更となる場合があります。



7月、真夏の到来です。7月といえば京都は八坂神社の祇園祭ですが、今号の表紙を飾っている「祇園さん」はご存知でしょうか。

もちろん、美山の皆さまには恒例の祭りであると思いますが、美山町田歌にも八坂神社があり、こちらでは「祇園さん」と言われ府の登録無形民俗文化財となっています。この祭り、名称から京

都の八坂神社の祇園祭から伝わったとされる説がある一方で、田歌集落は若狭との文化交流が深かったことから、小浜方面から伝わったとの説も。しかし、実際のところは定かでないようです。

今年は終わりましたが、来年は地元の「祇園さん」へお出かけになってみてはどうでしょうか。

(M・N)

広報委員

委員長	仲	山下	大町	小中	仲村	林	廣瀬
副委員長	秋	絹	功	昭	学	茂	孝人
委員							
委員							